

資料編

- 1 「子どもの読書活動の推進に関する法律」
(子どもの読書活動の推進に関する法律に対する附帯決議)
- 2 「文字・活字文化振興法」
- 3 「国民読書年に関する決議」
- 4 「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第三次）」
- 5 「福岡県子ども読書推進計画（改訂版）」
- 6 久留米市立図書館協議会委員名簿
- 7 第3次久留米市子どもの読書活動推進計画調整会議委員名簿
- 8 第3次久留米市子どもの読書活動推進計画ワーキンググループ関係部課名
- 9 第3次久留米市子どもの読書活動推進計画審議会開催経過
- 10 第3次久留米市子どもの読書に関するアンケート調査結果

1 「子どもの読書活動の推進に関する法律」

(平成13年12月12日 法律第154号)

(目的)

第1条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第2条 子ども(おおむね18歳以下の者をいう。以下同じ)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第3条 国は、前条の基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第4条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第5条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第6条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第7条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第8条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(以下「子

ども読書活動推進基本計画」という。)を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第9条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画(都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画)を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第10条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、4月23日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第11条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附則

この法律は、公布の日から施行する。

子どもの読書活動の推進に関する法律に対する附帯決議 (衆議院文部科学委員会)

政府は、本法施行に当たり、次の事項について配慮すべきである。

- 1 本法は、子どもの自主的な読書活動が推進されるよう必要な施策を講じて環境を整備していくものであり、行政が不当に干渉することのないようにすること。
- 2 民意を反映し、子ども読書活動推進基本計画を速やかに策定し、子どもの読書活動の推進に関する施策の確立とその具体化に努めること。
- 3 子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、本と親しみ、本を楽しむことができる環境づくりのため、学校図書館、公共図書館等の整備充実に努めること。
- 4 学校図書館、公共図書館等が図書を購入するに当たっては、その自主性を尊重すること。
- 5 子どもの健やかな成長に資する書籍等については、事業者がそれぞれの自主的判断に基づき提供に努めるようにすること。
- 6 国及び地方公共団体が実施する子ども読書の日の趣旨にふさわしい事業への子どもの参加については、その自主性を尊重すること。

2 「文字・活字文化振興法」

(平成17年7月29日 法律第91号)

(目的)

第1条 この法律は、文字・活字文化が、人類が長い歴史の中で蓄積してきた知識及び知恵の継承及び向上、豊かな人間性の涵養並びに健全な民主主義の発達に欠くことのできないものであることにかんがみ、文字・活字文化の振興に関する基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務を明らかにするとともに、文字・活字文化の振興に関する必要な事項を定めることにより、我が国における文字・活字文化の振興に関する施策の総合的な推進を図り、もって知的で心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現に寄与することを目的とする。

(定義)

第2条 この法律において「文字・活字文化」とは、活字その他の文字を用いて表現されたもの（以下この条において「文章」という。）を読み、及び書くことを中心として行われる精神的な活動、出版活動その他の文章を人に提供するための活動並びに出版物

その他のこれらの活動の文化的所産をいう。

(基本理念)

第3条 文字・活字文化の振興に関する施策の推進は、すべての国民が、その自主性を尊重されつつ、生涯にわたり、地域、学校、家庭その他の様々な場において、居住する地域、身体的な条件その他の要因にかかわらず、等しく豊かな文字・活字文化の恵沢を享受できる環境を整備することを旨として、行わなければならない。

2 文字・活字文化の振興に当たっては、国語が日本文化の基盤であることに十分配慮されなければならない。

3 学校教育においては、すべての国民が文字・活字文化の恵沢を享受することができるようにするため、その教育の課程の全体を通じて、読む力及び書く力並びにこれらの力を基礎とする言語に関する能力（以下「言語力」という。）の涵養に十分配慮されなければならない。

(国の責務)

第4条 国は、前条の基本理念（次条において「基本理念」という。）にのっとり、文字・活字文化の振興に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第5条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、文字・活字文化の振興に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(関係機関等との連携強化)

第6条 国及び地方公共団体は、文字・活字文化の振興に関する施策が円滑に実施されるよう、図書館、教育機関その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。（地域における文字・活字文化の振興）

第7条 市町村は、図書館奉仕に対する住民の需要に適切に対応できるようにするため、必要な数の公立図書館を設置し、及び適切に配置するよう努めるものとする。

2 国及び地方公共団体は、公立図書館が住民に対して適切な図書館奉仕を提供することができるよう、司書の充実等の人的体制の整備、図書館資料の充実、情報化の推進等の物的条件の整備その他の公立図書館の運営の改善及び向上のために必要な施策を講ずるものとする。

3 国及び地方公共団体は、大学その他の教育機関が行う図書館の一般公衆への開放、文字・活字文化に係る公開講座の開設その他の地域における文字・活

字文化の振興に貢献する活動を促進するため、必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

- 4 前三項に定めるもののほか、国及び地方公共団体は、地域における文字・活字文化の振興を図るため、文字・活字文化の振興に資する活動を行う民間団体の支援その他の必要な施策を講ずるものとする。

(学校教育における言語力の涵養)

第8条 国及び地方公共団体は、学校教育において言語力の涵養が十分に図られるよう、効果的な手法の普及その他の教育方法の改善のために必要な施策を講ずるとともに、教育職員の養成及び研修の内容の充実その他のその資質の向上のために必要な施策を講ずるものとする。

- 2 国及び地方公共団体は、学校教育における言語力の涵養に資する環境の整備充実を図るため、司書教諭及び学校図書館に関する業務を担当するその他の職員の充実等の人的体制の整備、学校図書館の図書館資料の充実及び情報化の推進等の物的条件の整備等に関し必要な施策を講ずるものとする。

(文字・活字文化の国際交流)

第9条 国は、できる限り多様な国の文字・活字文化が国民に提供されるようにするとともに我が国の文字・活字文化の海外への発信を促進するため、我が国においてその文化が広く知られていない外国の出版物の日本語への翻訳の支援、日本語の出版物の外国語への翻訳の支援その他の文字・活字文化の国際交流を促進するために必要な施策を講ずるものとする。

(学術的出版物の普及)

第10条 国は、学術的出版物の普及が一般に困難であることにかんがみ、学術研究の成果についての出版の支援その他の必要な施策を講ずるものとする。

(文字・活字文化の日)

第11条 国民の間に広く文字・活字文化についての関心と理解を深めるようにするため、文字・活字文化の日を設ける。

- 2 文字・活字文化の日は、十月二十七日とする。

- 3 国及び地方公共団体は、文字・活字文化の日には、その趣旨にふさわしい行動が実施されるよう努めるものとする。

(財政上の措置等)

第12条 国及び地方公共団体は、文字・活字文化の振興に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附則

この法律は、公布の日から施行する。

3 「国民読書年に関する決議」

(平成20年6月6日)

<衆議院本会議>

国民読書年に関する決議(第169回国会、決議第2号)

文字・活字は、人類が生み出した文明の根源をなす崇高な資産であり、これを受け継ぎ、発展させて心豊かな国民生活と活力あふれる社会の実現に資することは、われわれの重要な責務である。

しかしながら、我が国においては近年、年齢や性別、職業等を越えて活字離れ、読書離れが進み、読解力や言語力の衰退が我が国の精神文明の変質と社会の劣化を誘引する大きな要因の一つとなりつつあることは否定できない。

我が国の国会はこうした危機意識から、平成11年(西暦1999年)に「子ども読書年に関する決議」を衆参両院で採択、平成13年(西暦2001年)には「子どもの読書活動の推進に関する法律」を制定、さらに平成17年(西暦2005年)には「文字・活字文化振興法」を制定し、具体的な施策の展開を政府とともに進めてきた。

学校における「朝の読書運動」の急速な浸透、読書の街づくりの広がり、様々な読書グループの活性化など、国民の間の「読み・書き」運動の復活、振興などはその効果の顕著な例である。

こうした気運の一層の発展をめざし、われわれは「文字・活字文化振興法」の制定から5年目の平成22年(西暦2010年)を新たに「国民読書年」と定め、政官民協力のもと、国をあげてあらゆる努力を重ねることをここに宣言する。

右決議する。

<参議院本会議>

国民読書年に関する決議

文字・活字によって、人類はその英知を後世に伝えてきた。この豊穡で深遠な知的遺産を受け継ぎ、更に発展させ、心豊かな社会の実現につなげていくことは、今の世に生きる我々が負うべき重大な責務である。

しかし、近年我が国でも「活字離れ」と言われて久しく、年齢層を問わず、読書への興味が薄れていると言わざるを得ない。これが言語力、読解力の衰退や精神文明の変質の大きな要因の一つとなりつつあることは否定できない。

我々はこの事実を深刻なものと受け止め、読書の価値を見直し、意識の啓発を目指し、政府と協力してあ

らゆる活動を行ってきた。1999年に「子ども読書年に関する決議」を両院で採択、2001年には「子どもの読書活動の推進に関する法律」を立法、さらに2005年には「文字・活字文化振興法」を制定し、具体的な施策の展開を推し進めてきた。

それらに呼応して「朝の十分間読書運動」の浸透、読書の街づくりの広がり、様々な読書に関する市民活動の活性化など、読書への国民の意識は再び高まりつつある。

この気運を更に高め、真に躍動的なものにしていくため、2010年を新たに「国民読書年」と定めたいと思う。これにより、政官民が協力し、国をあげてあらゆる努力を重ねることをここに宣言する。

右決議する。

4 「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」(第三次)

(平成25年5月 閣議決定)

(第3章 基本的方針)

読書を通じて、子どもは読解力や想像力、思考力、表現力等を養うとともに、多くの知識を得たり、多様な文化を理解したりすることができる。また、書籍や新聞、図鑑などの資料を読み深めることを通じて、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを体得し、更なる知的探求心や真理を求める態度が培われる。このため、子どもが自ら読書に親しみ、読書習慣を身に付けていけるよう、子どもの興味・関心を尊重しながら自主的な読書活動を推進することが重要である。

また、読書は、子どもが自ら考え、自ら行動し、主体的に社会の形成に参画していくために必要な知識や教養を身に付ける重要な契機となる。特に、社会が急激に変化し、複雑化していく中で、個人が読書活動などを通じて、生涯にわたって絶えず自発的に学ぼうとする習慣を身に付けていくことは大変重要である。

このように、知的活動の基礎となる自主的な読書活動は、推進法第2条や文字・活字文化振興法(平成17年法律第91号)第1条が規定するように、人格の完成と個人の能力の伸長、主体的な社会参画を促すものとして、民主的で文化的な社会の発展に不可欠のものである。

以上のような観点から、国及び地方公共団体は、次の取組を通じ、子どもの自主的な読書活動の重要性を踏まえて、その推進を図る。

1. 家庭、地域、学校を通じた社会全体における取組

子どもの自主的な読書活動を推進するためには、家庭、地域、学校を通じた社会全体で取り組むことが重

要である。家庭、地域、学校がそれぞれの役割を果たし、民間団体とも緊密に連携し、相互に協力を図ることが求められる。

このような観点から、国及び地方公共団体は、家庭、地域、学校をはじめとして、社会全体で子どもの自主的な読書活動の推進を図るような取組を推進するとともに、必要な体制の整備に努める。

2. 子どもの読書活動を支える環境の整備

子どもの読書活動を支える環境には地域間格差が見られることから、地方公共団体が地域の実情を十分に勘案するなど、施策の方向性や取組を示すことが大切である。また、子どもの発達段階に応じて、子ども自身が読書の楽しさを知るきっかけを作り、読書の幅を広げ、読書体験を深めるような機会を提供するとともに、そのための環境作りに努めることが必要である。あわせて、子どもが読書活動に関心を持つような本を身近に整えることが重要である。

このような観点から、国及び地方公共団体は、子どもの自主的な読書活動の推進に資するため、家庭、地域、学校において子どもが読書に親しむ機会の提供に努めるとともに、施設、設備その他の諸条件の整備・充実にも努める。

3. 子どもの読書活動に関する意義の普及

子どもは、大人から民話等の話を聞いたり、読書をする大人の姿を見たりすることで読書意欲を高めていく。子どもが自主的な読書習慣を身に付けていくためには、特に、保護者、教員、保育士等子どもにとって身近な大人が読書活動に理解と関心を持つことが重要である。このため、社会全体で読書活動を推進する機運を一層高める必要がある。

このような観点から、国及び地方公共団体は、子どもの自主的な読書活動を推進する社会的機運の醸成を図るため、読書活動の意義や重要性について広く普及啓発を図るよう努める。

5 「福岡県子ども読書推進計画(改訂版)」

(平成28年8月 福岡県教育委員会)

(概要)

1 基本目標

(1) 読書活動の意義

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で、欠くことのできないものです。

また、読書を通して、子どもは読解力や想像力、思考力等を養うとともに、多くの知識を得たり、多様な文化を理解したりすることができます。

「福岡県子ども読書推進計画」においては、読書活動とは、読書という本を読む行為と読書に関する様々な活動とを併せたものと定義しており、学校・家庭・地域・民間において、「読書推進ボランティアの養成及び活用促進」や「図書館間及び学校図書館等との連携・協力・ネットワーク化」等に取り組むことで、子どもの読書活動を推進します。

子どもの読書活動の現状としては、平成 27 年度の第 61 回学校読書調査（全国学校図書館協議会・毎日新聞社）によれば、1 か月の平均読書量は、小学生が 11.2 冊、中学生が 4.0 冊、高校生が 1.5 冊となっています。また、1 か月間に 1 冊も本を読まなかった者の割合は、小学生 4.8%、中学生 13.4%、高校生 51.9% で、学校段階が進むにつれ子どもの読書離れが進む傾向であることがうかがえます。

学校においては、朝の活動時間を利用して、定例的な読書や本の読み聞かせなどを実施するとともに、児童生徒の読書リーダーや読書推進ボランティアの育成とその活用促進などを積極的に行ってまいりました。特に「朝の読書」等では、「学級全体が落ち着き、集中力が増した」などの報告がなされており、その取組の輪が広がっています。

また、親子で同じ本を読んだり、リレー方式で本の感想等の情報交換をしたりするなど家庭における読書活動の取組も広がりはじめ、子どもの読書習慣の定着とともに、親子のコミュニケーションづくりの場ともなっています。

さらに、関係課において図書館、子どもの読書活動推進機関・団体等と連携して、環境整備を含めた子どもの読書活動の定着・充実を図る取組を実施しています。

このように、子どもの読書活動の推進は、社会や学校が抱えている今日的な課題を解決する一方策であることを認識し、県全体でその取組を推進していく必要があります。

(2) 計画の目標

子ども（おおむね 18 歳以下を指す。）の読書活動を推進するためには、すべての子どもが、あらゆる機会と場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、それぞれの子どもの発達段階・個性に応じて、人間形成に役立つ質の高い本と出会うきっかけを作り、興味・関心を高め読書活動の範囲を広げ、様々な読書体験ができるような環境づくりを推進することが必要です。

乳幼児期においては、保護者による本の読み聞かせが主となり、子どもの読書習慣を形成する時期となります。子どもは絵本の絵を見ながら語りかけられることにより、想像力を高め、言葉を学ぶだけでなく、保護者と子どものきずなが強まり、読書を楽しむきっかけが生まれます。

また、地域の図書館等を利用して、親子や家族など大人と子どもが共に読書を楽しむ時間を作ることも大切です。

小学生は、文字を覚え、徐々に主体的に読書を行う習慣を身に付けていきますが、全校一斉読書や読書指導等の学校教育活動や地域の図書館ボランティア等と連携した様々な取組を通して、読書の楽しさを体験できる機会を設け、読書に対する興味・関心を一層高め、読書の習慣を定着させることが重要です。

中学生・高校生では、生涯にわたる読書の習慣を確立させるため、取組を継続するとともに、読書活動の幅を一層広げるために、多様な興味・関心に応じた読書環境の整備が重要です。

そのためには、学校における教育活動の中だけでなく、あらゆる機会を通して、学校図書館や地域の図書館、ボランティア団体等が、それぞれ子どもの読書活動を推進するために期待される役割を果たすとともに、相互に連携した取組を進めることが必要です。

2 計画の位置付け

「福岡県子ども読書推進計画」は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第 9 条第 1 項に規定される「県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画」であり、また同条第 2 項の「市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画」を策定するに当たっての基本となるものです。

なお、福岡県の県政運営の長期的指針である「福岡県総合計画『県民幸福度日本一』の福岡県を目指して」（平成 24 年 3 月）の中には子どもの読書活動の充実が位置付けられており、この「福岡県子ども読書推進計画」は、今後の福岡県内の読書に関するあらゆる機関、施設、団体等が、子どもの読書活動を推進していくための総合的な指針として定めるものです。

3 計画推進のための基本方針

子どもの読書活動を推進し、子どもの読書習慣の形成・定着・確立を図るため、4 つの基本方針を掲げ、その推進に努めます。

(1) 家庭・地域・学校・民間における子どもの読書活動の推進

子どもを取り巻く読書に関する環境として、大きく

「家庭」、「地域」、「学校」、「民間」が挙げられます。まずは、「家庭」、「地域」、「学校」、「民間」が、子どもの読書活動を推進していくために担うべき役割、課題を把握し、今後推進していくべき方向性を明らかにする必要があります。

「家庭」は、乳幼児期をはじめとして、読書習慣を形成するために重要な役割を持っており、また「地域」とともに、休日の時間の過ごし方を考える主体的な立場にあります。

「地域」は、域内に存在する子どもの読書活動に関係する施設、機関、団体・グループなどであり、地域における読書活動の推進を通して、子どもの読書習慣を形成し、定着させ、確立させる上で重要な役割を持っています。図書館を中心に、読書活動推進団体等が従来から行っている読書活動の推進のための取組を、一層充実させる必要があります。

「学校」は、学習指導要領において読書活動の位置付けがあり、学校図書館を計画的に利用し、その機能の活用を図り、児童生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させる必要があります。これらを踏まえ学校図書館は、国語科などの各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動などを含め、学校の教育活動全体を通じて多様な読書活動が展開され、子どもの読書習慣の定着・確立を図る上で重要な役割を持っています。このため、学校図書館を活用した一層の子どもの読書活動の推進が期待されています。

「民間」は、子どもの読書活動に関する関心を高めるとともに、子どもが読書に親しむ様々な機会を提供するなど、子どもの自主的な読書活動を推進することに大きく寄与しています。

例えば、読書習慣等の市町村での取組、読書感想文コンクール、家庭での読み聞かせを積極的に奨励する運動、フォーラムの開催、読書指導員の養成等が行われています。

また、子どもの読書活動の推進を図る民間団体の活動を充実させるとともに、民間ネットワークを構築して実施する情報交流や合同研修などの促進を図るためにも「子どもゆめ基金」をはじめとした助成などにより、これらの民間団体の活動を支援します。

(2) 子どもの読書活動推進のための施設・設備等諸条件の整備・充実

子どもの読書活動を推進するためには、身近な図書館・学校図書館などが中心となった施策の推進が重要です。

また、子どもが身近なところで求める読書活動ができる環境の整備を図ることは、子どもが発達段階に応じた読書習慣を身につけていく上で重要なことから、

地域の実情に応じて、移動図書館車や各種施設を活用した図書室・図書コーナーの整備充実が必要です。

(3) 図書館間及び学校図書館等との連携・協力・ネットワーク化

子どもの読書活動を一層推進し、生涯にわたる読書習慣を身につけていくためには、それぞれの関係施設が有機的に連携・協力し、ネットワークを形成することが重要です。

特に、子どもの読書活動の推進の中心となる地域の図書館と学校図書館の連携を一層推進していく必要があります。

(4) 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

子どもの自主的な読書活動を推進するには、子どもの読書の意義や重要性について、県民に対して理解と関心を深める必要があります。

子どもは、読み聞かせによって保護者の愛情とともに読書の楽しみを知り、また、大人の読書に対する認識が、子どもの読書意欲を高めます。

特に、保護者、教職員、保育士等が、子どもの読書活動の意義を理解し、積極的に推進、協力することによって、各関係機関、団体等が行う読書推進の取組がスムーズに実施でき、子どもが発達段階に応じた読書習慣を身に付けていく上で効果的であると考えます。

また、書店商業組合を通じた各書店との連携・協力によって、更なる子どもの読書活動の推進を図ることが期待できます。

6 久留米市立図書館協議会委員名簿

区分	氏名	役職名
学校教育関係	遠山 和良	聖使学園理事長
	武下 善則	久留米市立三潴小学校校長
	原 章	久留米市立三潴中学校校長
	長 俊一	福岡県立明善高等学校校長
社会教育関係	古賀 隆子	久留米男女共同参画推進ネットワーク
	吉富 道治	久留米市校区まちづくり連絡協議会
	今村 俊治	久留米市社会教育委員
家庭教育関係	永松 千枝	図書館ボランティア (北野図書館)
	中園 壽子	図書館ボランティア (城島図書館)
	大塚 節子	図書館ボランティア (中央図書館音訳)
	保坂 貞博	川会保育所園長
学識経験者	◎山田 貴生	久留米市議会議員
	○川島 久美子	日本子どもの本研究会福岡支部
	別府 龍江	全国童話人協会
	永利 和則	日本図書館協会
	遠山 潤	久留米大学特命教授
	中野 里恵	福岡県立図書館副館長

◎会長 ○副会長

7 第3次久留米市子どもの読書活動推進計画調整会議委員名簿

所属	氏名
協働推進部	秦 美樹
市民文化部	竹村 政高
健康福祉部	笠 幸則
子ども未来部	豊福 由起子
教育部	大久保 隆

8 第3次久留米市子どもの読書活動推進計画ワーキンググループ関係部課名

部局	課	担当人数
協働推進部	協働推進課	1名
	総務	1名
市民文化部	生涯学習推進課	1名
	中央図書館(事務局)	3名
	健康福祉部	保健所地域保健課
子ども未来部	総務	1名
	子ども政策課	1名
	子ども施設事業課	1名
教育部	総務	1名
	学校教育課	2名

●ワーキンググループ会議



9 第3次久留米市子どもの読書活動推進計画審議会開催経過

期 日	事 項	内 容
(平成28年)		
5月～6月	久留米市子どもの読書に関するアンケート実施・集約	
6月30日	ワーキンググループ会議（第1回）	計画の概要説明
7月27日	ワーキンググループ会議（第2回）	第2次計画の総括作成、第3次計画素案作成アンケート報告
7月29日	久留米市立図書館協議会（第1回）	第2次計画の総括審議、第3次計画素案審議
8月25日	ワーキンググループ会議（第3回）	第2次計画の総括作成、第3次計画素案作成
9月20日	ワーキンググループ会議（第4回）	第2次計画の総括作成、第3次計画素案作成
10月20日	ワーキンググループ会議（第5回）	第2次計画の総括作成、第3次計画素案作成
10月27日	久留米市立図書館協議会（第2回）	第2次計画の総括審議、第3次計画素案審議
11月10日	調整会議（第1回）	第2次計画の総括作成、第3次計画素案作成
11月25日	ワーキンググループ会議（第6回）	第3次期計画素案作成
12月13日	久留米市立図書館協議会（第3回）	第3次計画素案審議
12月21日	ワーキンググループ会議（第7回）	第3次計画素案作成
(平成29年)		
1月5日～	パブリックコメント募集	
2月3日		
2月8日	ワーキンググループ会議（第8回）	第2次計画の総括作成、第3次計画素案作成、パブリックコメント集約
2月16日	教育民生常任委員会報告	
2月22日	教育委員会報告	
2月23日	久留米市立図書館協議会（第4回）	第2次計画の総括審議、第3次計画審議

パブリックコメントでいただいたご意見や、ご意見に対する考え方は、久留米市ホームページに掲載しています。

10 第3次久留米市子どもの読書に関するアンケート調査結果

1. 調査の概要について

アンケート内容・・・家庭や学校等での読書活動の現状
実施時期・・・・・・・平成28年5月～6月

(1) 小学生へのアンケート

- ①アンケート対象・・・小学4・5・6年生
- ②実施方法・・・・・・・図書館から市立小学校22校26クラスに依頼し、一クラスを選び実施
※下田小と浮島小は4・5・6年生の児童全員に実施
- ③回収数・・・・・・・597人

(2) 中学生へのアンケート

- ①アンケート対象・・・全学年
- ②実施方法・・・・・・・図書館から市立中学校17校に依頼し、一クラスを選び実施
- ③回収数・・・・・・・565人

(3) 高校生へのアンケート

- ①アンケート対象・・・全学年

- ②実施方法・・・・・・図書館から各市立高校2校に依頼し、各学年から一クラスを選び実施
- ③回収数・・・・・・237人

(4) 保護者へのアンケート

- ①アンケート対象・・・・小学1・2・3年生の保護者
- ②実施方法・・・・・・図書館から市立小学校26校30クラスに依頼し、一クラスを選び実施
※下田小と浮島小は1・2・3年生の保護者全員に実施
- ③回収数・・・・・・585人

2. 主な結果

問2 本を読むのが好きか。

- ・小学生・・・・好き56.0% 少し好き32.8% 計88.8%
- ・中学生・・・・好き35.8% 少し好き37.6% 計73.4%
- ・高校生・・・・好き39.2% 少し好き43.9% 計83.1%

問3 なぜ本を読むのが好きになったか。

	小学生	中学生	高校生
① 小さい頃家族に読んでもらったから	35.6%	21.1%	25.4%
② 小さい頃本屋や図書館に連れて行ってもらった	27.7%	25.2%	24.4%
③ 家族や先生に読むようにすすめられたから	11.7%	10.2%	13.2%
④ 学校の「読書の時間」で読むようになってから	42.4%	31.1%	41.1%
⑤ 幼稚園・保育園の先生に読んでもらったから	27.3%	10.7%	5.1%
⑥ 本をプレゼントされたから	19.3%	9.0%	4.1%
⑦ 家に本があったから	37.7%	37.6%	25.4%

問4 なぜ本を読むのが嫌いになったか。

	小学生	中学生	高校生
① 読書感想文や読書感想画を書くのが嫌だった	38.8%	29.5%	35.0%
② 本を読むのは難しい	19.4%	24.2%	30.0%
③ 本を読むのは面白くない	43.3%	49.0%	45.0%

問5 1カ月にどれだけ本を読むか。

	小学生	中学生	高校生
① ぜんぜん読まない。	3.4%	20.2%	11.9%
② 1～2冊	12.0%	37.9%	66.5%
③ 3～5冊	21.5%	26.1%	13.1%
④ 6～9冊	20.3%	8.6%	5.9%
⑤ 10冊以上	42.9%	7.2%	2.5%

問6 読む本をどんなにして準備しているか。

	小学生	中学生	高校生
① 家にある本を読む	58.1%	46.7%	40.9%
② 学校図書室・学級文庫から借りる	73.7%	36.8%	17.3%
③ 家族又は自分で買う	41.2%	54.5%	70.0%
④ 図書館、市民センター等から借りる	40.4%	18.9%	8.9%

問7 本を読むことについてどう思うか。

	小学生	中学生	高校生
① 楽しい	72.5%	50.6%	64.1%
② 感動する	25.0%	18.1%	31.6%
③ 考える力がつく	46.1%	35.0%	38.8%
④ 物知りになる	32.8%	45.7%	49.4%
⑤ 家族・友達との話題が増える	33.0%	16.5%	13.5%
⑥ めんどくだ	3.7%	9.0%	6.3%
⑦ 読みたい本がまわりにない	4.7%	6.4%	2.5%
⑧ 面白くない	4.0%	5.7%	3.8%

問8 どうすれば今よりたくさんの本が読めるようになると思うか。

	小学生	中学生	高校生
① テレビ・ゲーム・スマホ・インターネットの時間を減らす	42.9%	50.4%	69.6%
② 学校図書室にたくさん本がある	51.6%	40.0%	19.8%
③ 学校図書室に本の事を教えてくれる先生がいる	15.7%	8.7%	5.5%
④ 家族と一緒に本を読む	16.9%	4.6%	4.6%
⑤ 家の人に図書館に連れて行ってもらう	45.1%	---	---

久留米市子どもの読書に関するアンケート回答集約表

- ①小学4・5・6年生
- ②中学生
- ③高校生
- ④小学1・2・3年生の保護者

H28/H23/H18 子どもの読書アンケート比較（４・５・６年生）

番号	質問内容	調査年度	H28年度調査		H23年度調査		H18年度調査	
		調査対象数	606		580		600	
		提出数/回収率	提出数	回収率	提出数	回収率	提出数	回収率
		質問項目	597	98.5%	574	99.0%	586	97.7%
問1	あなたは何年生ですか	1. 4年生	173	28.5%	187	33.0%	188	32.0%
		2. 5年生	199	32.8%	179	31.0%	192	33.0%
		3. 6年生	225	37.1%	208	36.0%	206	35.0%
		提出数/回収率	597	98.5%	574	99.0%	586	97.7%
問2	あなたは本を読むのが好きですか	1. 好き	333	56.0%	259	45.1%	332	57.0%
		2. 少し好き	195	32.8%	252	43.9%	190	32.6%
		3. 少しきらい	43	7.2%	37	6.4%	41	7.6%
		4. きらい	24	4.0%	26	4.5%	17	2.9%
		無回答	2		0		3	
		問3	あなたはなぜ本を読むことが好きになったんですか（複数回答） *好き・少し好きと回答した児童に対する割合	1. 小さい頃家族に本を読んでもらったから	188	35.6%	183	35.8%
2. 小さい頃本屋や図書館に連れて行ってもらったから	146	27.7%	150	29.4%	156	29.9%		
3. 家族や先生に、本を読むようにすすめられたから	62	11.7%	44	8.6%	62	11.9%		
4. 学校の「読書の時間」で本を読むようになってから	224	42.4%	190	37.2%	253	48.5%		
5. 幼稚園（保育所）の先生に読んでもらったから	144	27.3%	135	26.4%	136	26.1%		
6. 本をプレゼントされたから	102	19.3%	102	20.0%	88	16.9%		
7. 本が好きな友だちがいたから	60	11.4%	38	7.4%	48	9.2%		
8. 家に本があったから	199	37.7%	184	36.0%	193	37.0%		
9. その他	89	16.9%	88	17.2%	81	15.5%		
問4	あなたは、なぜ本を読むことが嫌いになったんですか（複数回答） *嫌い・少し嫌いと回答した児童に対する割合	1. むりやり本を読まされた	4	6.0%	1	1.6%	7	11.5%
		2. 読書感想文や感想画をかくのが嫌だった	26	38.8%	36	57.1%	34	55.7%
		3. 本を読むのは難しいから	13	19.4%	8	12.7%	13	21.3%
		4. 本を読むのは面白くない	29	43.3%	25	39.7%	23	37.7%
		5. 自分のまわりに本がない	5	7.5%	2	3.2%	4	6.6%
		6. その他	11	16.4%	9	14.3%	9	14.8%
		問5	あなたは、1ヶ月にどのくらい本を読みますか	1. ぜんぜん読まない	20	3.4%	17	3.0%
2. 1～2冊	71	12.0%	99	17.5%	93	16.2%		
3. 3～5冊	127	21.5%	139	24.6%	133	23.2%		
4. 6～9冊	120	20.3%	138	24.4%	121	21.1%		
5. 10冊以上	254	42.9%	173	30.6%	208	36.3%		
無回答	5		8		13			
問6	あなたは、読む本をどのようにして用意していますか（複数回答）	1. 家にある本を読む	347	58.1%	343	59.8%	342	58.4%
		2. 学校の図書室や学級文庫から借りる	440	73.7%	417	72.6%	461	78.7%
		3. 市の図書館、移動図書館、市民センターなどで借りる	241	40.4%	160	27.9%	209	35.7%
		4. 家族に買ってもらうか自分で買う	246	41.2%	243	42.3%	255	43.5%
		5. 友だちから借りる	48	8.0%	36	6.3%	42	7.2%
		6. 読まない	19	3.2%	22	3.8%	12	2.0%
		7. その他	7	1.2%	10	1.7%	9	1.5%
問7	あなたは、本を読むことについてどう思いますか（複数回答）	1. 楽しい	433	72.5%	395	68.8%	461	78.7%
		2. 感動する	149	25.0%	125	21.8%	158	27.0%
		3. 考える力がつく	275	46.1%	219	38.2%	251	42.8%
		4. 物知りになる	196	32.8%	168	29.3%	195	33.3%
		5. 家族や友だちとの話題がふえる	197	33.0%	157	27.4%	175	29.9%
		6. めんどろだ	22	3.7%	23	4.0%	29	4.9%
		7. 読みたい本がまわりにない	28	4.7%	17	3.0%	15	2.6%
		8. 面白くない	24	4.0%	19	3.3%	18	3.1%
		9. その他	38	6.4%	38	6.6%	21	3.6%
問8	あなたは、どうすれば今までよりたくさん本が読めるようになると思いますか（複数回答）	1. テレビやゲームやスマホ・インターネットの時間をへらす	256	42.9%	249	43.4%	258	44.0%
		2. 学校の図書室に本がたくさんある	308	51.6%	285	49.7%	314	53.6%
		3. 学校の図書室に本のことを教えてくれる先生がいる	94	15.7%	54	9.4%	92	15.7%
		4. 家族といっしょに本を読む	101	16.9%	90	15.7%	79	13.5%
		5. 家の人に図書館に連れて行ってもらう	269	45.1%	203	35.4%	217	37.0%
		6. その他	38	6.4%	31	5.4%	24	4.1%

H28/H23/H18 子どもの読書アンケート比較(中学生)

番号	質問内容	調査年度		H28年度調査		H23年度調査		H18年度調査	
		調査対象数		585		607		622	
		提出数/回収率		提出数	回収率	提出数	回収率	提出数	回収率
		質問項目		565	96.6%	567	93.4%	592	95.2%
問1	あなたは何年生ですか	1. 中1		168	28.7%	200	35.3%	177	29.9%
		2. 中2		270	46.2%	234	41.3%	278	47.0%
		3. 中3		127	21.7%	133	23.5%	137	23.1%
		提出数/回収率		565	96.6%	567	93.4%	592	95.1%
問2	あなたは本を読むのが好きですか	1. 好き		201	35.8%	190	33.6%	165	27.9%
		2. 少し好き		211	37.6%	197	34.9%	244	41.2%
		3. 少しきらい		105	18.7%	124	22.0%	136	23.0%
		4. きらい		44	7.8%	54	9.6%	47	7.9%
		無回答		4		2		0	
問3 問2で「好き・少し好き」と答えた人	あなたはなぜ本を読むことが好きになったんですか (複数回答) * 好き・少し好きと回答した生徒に対する割合	1. 小さい頃家族に本を読んでもらったから		87	21.1%	108	27.9%	105	25.7%
		2. 小さい頃本屋や図書館に連れて行ってもらったから		104	25.2%	85	22.0%	88	21.5%
		3. 家族や先生に、本を読むようにすすめられたから		42	10.2%	43	11.1%	57	13.9%
		4. 学校の「読書の時間」で本を読むようになってから		128	31.1%	134	34.6%	142	34.7%
		5. 幼稚園(保育所)の先生に読んでもらったから		44	10.7%	39	10.1%	25	6.1%
		6. 本をプレゼントされたから		37	9.0%	40	10.3%	32	7.8%
		7. 本が好きなお友だちがいたから		61	14.8%	55	14.2%	63	15.4%
		8. 家に本があったから		155	37.6%	162	41.9%	173	42.3%
		9. その他		64	15.5%	69	17.8%	87	21.3%
		問4 問2で「少し嫌い・嫌い」と答えた人	あなたは、なぜ本を読むことが嫌いになったんですか (複数回答) * 嫌い・少し嫌いと回答した生徒に対する割合	1. むりやり本を読まされた		5	3.4%	7	3.9%
2. 読書感想文や感想画をかくのが嫌だった				44	29.5%	77	43.3%	79	43.2%
3. 本を読むのは難しいから				36	24.2%	52	29.2%	56	30.6%
4. 本を読むのは面白くない				73	49.0%	70	39.3%	62	33.9%
5. 自分のまわりに本がない				11	7.4%	15	8.4%	16	8.7%
6. その他				26	17.4%	30	16.9%	27	14.8%
問5	あなたは、1ヶ月にどのくらい本を読みますか	1. ぜんぜん読まない		113	20.2%	133	23.5%	157	26.5%
		2. 1～2冊		212	37.9%	211	37.4%	253	42.7%
		3. 3～5冊		146	26.1%	139	24.6%	119	20.1%
		4. 6～9冊		48	8.6%	42	7.4%	31	5.2%
		5. 10冊以上		40	7.2%	40	7.1%	19	3.2%
		無回答		6		2		0	
問6	あなたは、読む本をどのようにして用意していますか (複数回答)	1. 家にある本を読む		264	46.7%	277	48.9%	265	44.8%
		2. 学校の図書室や学級文庫から借りる		208	36.8%	189	33.3%	188	31.8%
		3. 市の図書館、移動図書館、市民センターなどで借りる		107	18.9%	106	18.7%	115	19.4%
		4. 家族に買ってもらうか自分で買う		308	54.5%	290	51.1%	292	49.3%
		5. 友だちから借りる		83	14.7%	104	18.3%	111	18.8%
		6. 読まない		66	11.7%	82	14.5%	90	15.2%
		7. その他		10	1.8%	6	1.1%	10	1.7%
問7	あなたは、本を読むことについてどう思いますか (複数回答)	1. 楽しい		286	50.6%	311	54.9%	306	51.7%
		2. 感動する		102	18.1%	144	25.4%	164	27.7%
		3. 考える力がつく		198	35.0%	173	30.5%	200	33.8%
		4. 物知りになる		258	45.7%	180	31.7%	225	38.0%
		5. 家族や友だちとの話題がふえる		93	16.5%	122	21.5%	94	15.9%
		6. めんどくさ		51	9.0%	85	15.0%	93	15.7%
		7. 読みたい本がまわりにない		36	6.4%	47	8.3%	41	6.9%
		8. 面白くない		32	5.7%	49	8.6%	50	8.4%
		9. その他		23	4.1%	23	4.1%	24	4.4%
問8	あなたは、どうすれば今までよりたくさん本が読めるようになると思いますか (複数回答)	1. テレビやゲームやスマホ・インターネットの時間をへらす		285	50.4%	241	42.5%	233	39.4%
		2. 学校の図書室に本がたくさんある		226	40.0%	250	44.1%	273	46.1%
		3. 学校の図書室に本のことを教えてくれる先生がいる		49	8.7%	40	7.1%	43	7.4%
		4. 家族といっしょに本を読む		26	4.6%	32	5.6%	33	5.6%
		5. その他		52	9.2%	76	13.4%	93	15.7%

H28/H23/H18 子どもの読書アンケート比較(高校生)

番号	質問内容	調査年度	H28年度調査		H23年度調査		H18年度調査	
		調査対象数	238		242		236	
		提出数/回収率	提出数	回収率	提出数	回収率	提出数	回収率
		質問項目	237	99.6%	238	98.3%	225	95.3%
問1	あなたは何年生ですか	4. 高1	81	34.0%	80	33.6%	76	33.8%
		5. 高2	78	32.8%	81	34.0%	74	32.9%
		6. 高3	78	32.8%	77	32.4%	75	33.3%
		提出数/回収率	237	99.6%	238	98.3%	225	95.3%
問2	あなたは本を読むのが好きですか	1. 好き	93	39.2%	83	34.9%	73	32.6%
		2. 少し好き	104	43.9%	112	47.1%	104	46.4%
		3. 少し嫌い	33	13.9%	35	14.7%	36	16.1%
		4. 嫌い	7	3.0%	8	3.4%	11	4.9%
		無回答	0		0		1	
問3	あなたはなぜ本を読むことが好きになったんですか (複数回答) *好き・少し好きと回答した生徒に対する割合	1. 小さい頃家族に本を読んでもらったから	50	25.4%	36	18.5%	25	14.1%
		2. 小さい頃本屋や図書館に連れて行ってもらったから	48	24.4%	36	18.5%	19	10.7%
		3. 家族や先生に、本を読むようにすすめられたから	26	13.2%	17	8.7%	25	14.1%
		4. 学校の「読書の時間」で本を読むようになってから	81	41.1%	94	48.2%	73	41.2%
		5. 幼稚園(保育所)の先生に読んでもらったから	10	5.1%	6	3.1%	6	3.4%
		6. 本をプレゼントされたから	8	4.1%	2	1.0%	13	7.3%
		7. 本が好きなお友だちがいたから	17	8.6%	19	9.7%	15	8.5%
		8. 家に本があったから	50	25.4%	50	25.6%	49	27.7%
		9. その他	35	17.8%	28	14.4%	40	22.6%
		問4	あなたは、なぜ本を読むことが嫌いになったんですか (複数回答) *嫌い・少し嫌い・嫌いと回答した生徒に対する割合	1. むりやり本を読まされた	0	0.0%	2	4.7%
2. 読書感想文や感想画をかくのが嫌だった	14			35.0%	19	44.2%	22	46.8%
3. 本を読むのは難しいから	12			30.0%	9	20.9%	10	21.3%
4. 本を読むのは面白くない	18			45.0%	12	27.9%	7	14.9%
5. 自分のまわりに本がない	3			7.5%	4	9.3%	5	10.6%
6. その他	3			7.5%	10	23.3%	6	12.8%
問5	あなたは、1ヶ月にどのくらい本を読みますか	1. ぜんぜん読まない	28	11.9%	30	12.8%	38	17.7%
		2. 1～2冊	157	66.5%	158	67.2%	145	67.4%
		3. 3～5冊	31	13.1%	35	14.9%	27	12.6%
		4. 6～9冊	14	5.9%	8	3.4%	2	0.9%
		5. 10冊以上	6	2.5%	4	1.7%	3	1.4%
問6	あなたは、読む本をどのようにして用意していますか (複数回答)	1. 家にある本を読む	97	40.9%	113	47.5%	87	38.7%
		2. 学校の図書室や学級文庫から借りる	41	17.3%	40	16.8%	39	17.3%
		3. 市の図書館、移動図書館、市民センターなどで借りる	21	8.9%	18	7.6%	24	10.7%
		4. 家族に買ってもらうか自分で買う	166	70.0%	139	58.4%	135	60.0%
		5. 友だちから借りる	72	30.4%	79	33.2%	84	37.3%
		6. 読まない	4	1.7%	5	2.1%	13	5.8%
		7. その他	12	5.1%	2	0.8%	9	4.0%
問7	あなたは、本を読むことについてどう思いますか (複数回答)	1. 楽しい	152	64.1%	154	64.7%	119	52.9%
		2. 感動する	75	31.6%	85	35.7%	101	44.9%
		3. 考える力がつく	92	38.8%	79	33.2%	82	36.4%
		4. 物知りになる	117	49.4%	118	49.6%	107	47.6%
		5. 家族や友だちとの話題がふえる	32	13.5%	32	13.4%	36	16.0%
		6. めんどくさ	15	6.3%	21	8.8%	16	7.1%
		7. 読みたい本がまわりにない	6	2.5%	8	3.4%	11	4.9%
		8. 面白くない	9	3.8%	3	1.3%	5	2.2%
		9. その他	2	0.8%	6	2.5%	7	3.1%
問8	あなたは、どうすれば今までよりたくさん本が読めるようになると思いますか (複数回答)	1. テレビやゲームやスマホ・インターネットの時間をへらす	165	69.6%	126	52.9%	74	32.9%
		2. 学校の図書室に本がたくさんある	47	19.8%	67	28.2%	63	28.0%
		3. 学校の図書室に本のことを教えてくれる先生がいる	13	5.5%	15	6.3%	11	4.9%
		4. 家族といっしょに本を読む	11	4.6%	7	2.9%	8	3.6%
		5. その他	21	8.9%	31	13.0%	46	20.4%

H28/H23/H18 子どもの読書アンケート比較（小学校1・2・3年生の保護者）

番号	質問内容	調査年度		H28年度調査		H23年度調査		H18年度調査		
		調査対象数		630		672		616		
		提出数/回収率		提出数	回収率	提出数	回収率	提出数	回収率	
質問項目		585	92.9%	571	85.0%	513	83.3%			
問2	あなたは子どもが読書することは大切だと思いますか	1. 思う	577	99.7%	560	98.4%	509	99.2%		
		2. 思わない	2	0.3%	3	0.5%	3	0.6%		
		3. その他	0	0.0%	6	1.1%	1	0.2%		
		無回答	6		2		0			
問3	あなたは自分の子どもに読み聞かせ（本を読んであげた）の経験はありますか	1. よくある	191	32.8%	193	33.9%	157	30.6%		
		2. 時々ある	298	51.2%	304	53.4%	286	55.8%		
		3. ほとんどない	87	14.9%	66	11.6%	63	12.3%		
		4. ない	2	0.3%	5	0.9%	2	0.4%		
		5. その他	4	0.7%	1	0.2%	5	1.0%		
		無回答	3		2		0			
問4 問3で1・2と答えた人	読み聞かせを始めたきっかけは何ですか（複数回答）	1. 友人・知人に薦められて	63	12.9%	49	9.9%	42	9.5%		
		2. 子どもにせがまれて	231	47.2%	251	50.5%	249	56.2%		
		3. 講演会等を聞いて	62	12.7%	65	13.1%	36	8.1%		
		4. 学校図書館の司書に勧められて	9	1.8%	3	0.6%	166	37.5%		
		5. その他	180	36.8%	184	37.0%	0	0.0%		
		無回答								
問5 問3で1・2と答えた人	読み聞かせをすることで、お子さんはどのように変化しましたか（複数回答）	1. 機嫌がよくなる	157	32.1%	176	35.4%	155	35.0%		
		2. 読んでとせがむ	225	46.0%	253	50.9%	264	59.6%		
		3. 言葉の発達に役立つ	153	31.3%	147	29.6%	116	26.2%		
		4. 絵や文字に興味を持つようになった	291	59.5%	285	57.3%	260	58.7%		
		5. 人の話が聞けるようになった	63	12.9%	81	16.3%	73	16.5%		
		6. 本が好きになった	238	48.7%	257	51.7%	239	54.0%		
		7. 子どもが落ち着いた	51	10.4%	54	10.6%	52	11.7%		
		8. 感性が豊かになった	152	31.1%	148	29.8%	141	31.8%		
		9. その他	29	5.9%	32	6.4%	34	7.7%		
		無回答								
問6 問3で1・2と答えた人	読み聞かせの本はどうやって用意しますか（複数回答）	1. 市立図書館（移動図書館を含む）や市民センター等で借りる	219	44.8%	227	45.7%	213	48.1%		
		2. 子どもが学校の図書館から借りてくる	204	41.7%	163	32.8%	169	38.2%		
		3. 購入する	238	48.7%	283	56.9%	264	59.6%		
		4. その他	45	9.2%	46	9.3%	38	8.6%		
問7	あなたは自身は本を読むことは好きですか	1. 好き	237	40.6%	211	37.4%	212	42.2%		
		2. どちらかというと好き	204	34.9%	219	38.8%	191	38.0%		
		3. 嫌い	27	4.6%	24	4.3%	24	4.8%		
		4. どちらかというと嫌い	116	19.9%	111	19.7%	76	15.1%		
		無回答	1		6		10			
問8 問7で好き、どちらかというと好きと答えた方	あなたは何故本を読むことが好きになったんですか（複数回答）	1. 小さい頃家族に本を読んでもらったから	104	23.6%	101	23.5%	93	23.1%		
		2. 小さい頃本屋や図書館に連れていってもらったから	139	31.5%	122	28.4%	95	23.6%		
		3. 家族や先生に、本を読むように勧められたから	87	19.7%	68	15.8%	72	17.9%		
		4. 本をプレゼントされたから	60	13.6%	57	13.3%	60	14.9%		
		5. 本が好きで友人・知人の影響を受けた	89	20.2%	89	20.7%	86	21.3%		
		6. 家に本があったから	148	33.6%	170	39.5%	154	38.2%		
		7. その他	88	20.0%	84	19.5%	96	23.8%		
問9 問7で嫌い、どちらかというと嫌い と答えた方	あなたは何故本を読むことが嫌いになったんですか（複数回答）	1. 子どもの頃無理やり本を読まされた	1	0.7%	7	5.2%	7	7.0%		
		2. 読書感想文や感想画をかくのが嫌だったから	70	49.0%	65	48.2%	62	62.0%		
		3. 本を読むのは難しいから	26	18.2%	20	14.8%	25	25.0%		
		4. 本を読むのは面白くない	26	18.2%	25	18.5%	10	10.0%		
		5. 自分の周りに本がない	19	13.3%	23	17.0%	9	9.0%		
		6. その他	40	28.0%	42	31.1%	23	23.0%		
問10	あなたはもう少し子どもたちがもっと本を読むようになると思いますか（複数回答）	1. 子どもが小さい時から親が本の読み聞かせをする	359	61.4%	396	69.4%	348	67.8%		
		2. 親が子どもに読書を勧めたり、本を与えたりする	193	33.0%	170	29.8%	156	30.4%		
		3. 親自身が本を楽しむ	333	56.9%	339	59.4%	309	60.2%		
		4. 家族で図書館や本屋に行く機会を増やす	309	52.8%	317	55.5%	296	57.7%		
		5. テレビやゲームの時間を減らす	170	29.1%	160	28.0%	132	25.7%		
		6. 家で「読書の時間」をつくる	180	30.8%	136	23.8%	109	21.2%		
		7. 学校教育にもっと読書の時間を取り入れる	132	22.6%	112	19.6%	118	23.0%		
		8. その他	22	3.8%	36	6.3%	28	5.5%		
問13	ブックスタート（赤ちゃんと保護者に言葉をそえて絵本をプレゼントする運動）に参加しましたか	1. 久留米市のブックスタートに参加した	338	60.7%	240	43.9%				
		2. 他市町村のブックスタートに参加した	28	5.0%	30	5.5%				
		3. ブックスタートのことは知っているが参加しなかった	80	14.4%	80	14.6%				
		4. ブックスタートのことは知らない	111	19.9%	197	36.0%				
		無回答	28		24					

第3次久留米市子どもの読書活動推進計画

久留米市・久留米市教育委員会

平成29年3月

(担当) 久留米市立中央図書館

〒839-0862

久留米市野中町970-1

電話 0942-38-7116

ファクス 0942-38-7183